

研究名：甲状腺尾側の高エコー腫瘍,いわゆる「ファントム結節」について  
～当院での頸部超音波検査 273例による検討

**【研究の目的】**

頸部超音波検査を行うと、甲状腺尾側に高エコーの結節病変が散見されます。いわゆる「ファントム」と呼ばれるもので、切除検体の病理標本で、大部分が脂肪に置換された胸腺であると報告されています。臨床的に問題とならないため、文献的にまとまった報告は乏しく、今回当院でのファントム結節症例について、臨床像、超音波所見について検討します。本研究により、不必要な細胞診を減らすことにつながります。

**【研究対象および方法】**

対象者：2021年1月～2023年4月に当院で頸部超音波検査を施行された方。

方法：当院通院中に取得した血液検査データ、超音波所見について収集し解析を実施します。

**【研究に用いられる試料・情報】**

試料：本研究で試料を用いることはありません。

情報：年齢、性別、甲状腺・副甲状腺関連の血液検査データ、併存する甲状腺・副甲状腺疾患、症例毎の結節数、結節の存在部位、結節の大きさと超音波所見。

**【研究組織】**

代表施設名：常陸大宮済生会病院 臨床検査技師 初鳥美樹子

**【研究に関する情報公開の方法】**

研究成果は個人情報保護の上で、学会発表・学術雑誌などで公表されることがあります。

**【個人情報の取扱い】**

研究に利用する情報は、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究論文中に個人が特定されるデータ記載は一切ありません。本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記まで連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【お問い合わせ等の連絡先】**

研究者

常陸大宮済生会病院 臨床検査科 初鳥美樹子

電話：0295-52-5151